



生きるを、ともに、つくる。

これまで私たちは、ひとりひとりの患者と向き合い
病院看護を中心に、生きる力を引き出す技術を磨いてきました。
それは、揺るぐことのない誇りです。

けれど、いま、変わらなくてはなりません。

少子・超高齢化、医療費削減、在宅医療の増加により
看護の力は病院だけではなく、あらゆる場所で必要とされています。

最期までを、看統けるためにも。

私たちはいま、「暮らし」というフィールドに立ち、
これまでなかった看護のかたちを実現させなければなりません。

地域全体を見渡せる、看護システムは。

安心して、在宅医療を選択できるためには。

問われているのは、看護職ひとりひとりが考え、行動すること。

もっと自由に。もっと強く。

未来に向け、求めあう手と手がしっかり届き結ばれるような環境を
新しく作り上げていきたい。私たちは、そう思う。

5月6日(日)～5月12日(土)は
看護週間

主催：厚生労働省/日本看護協会 後援：文部科学省/日本医師会/日本歯科医師会/日本薬剤師会/全国社会福祉協議会
協賛：日本病院会/全日本病院協会/日本医療法人協会/日本精神科病院協会/全国自治体病院協議会/日本助産師会/日本精神科看護協会
日本訪問看護財団/全国訪問看護事業協会/テルモ(株)/東洋羽毛工業(株)/ナガイレーベン(株)/バラマウントベッドホールディングス(株)/フクキューセイモア(株)
撮影協力：訪問看護ステーションゆらりん/KIDSゆらりん/看護小規模多機能型居宅介護ナースingホーム岡上/杏林大学医学部付属病院

<http://www.nurse.or.jp>



看護の心をみんなの心に

**5月12日は
看護の日**